

みやけの風

第 75 号

平成14年(2002年)4月13日(土)発行
 発行：三宅島災害・東京ボランティア支援センター
 発行責任者：上原 泰男
 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ 10階
 東京ボランティア・市民活動センター気付
 TEL：03-3260-7573 FAX：03-5229-1646
 E-mail：tokyocenter@cmpo.org

「いよいよだね」「え、オレの日帰り帰宅は来月だよ」「そうじゃなくて、ふれあい集会のことだよ」「ああ、そうか」「うちは、移送サービスとかいうもんで、車椅子ごと乗せて行ってもらうことにしたんだ」「島民連絡会の設立っていうのもプログラムにあったな」「いよいよ、自分たちみんなのが出来はじめたな」来週はみやけの風はお休みです

みんなの声

(1) 第2回自主帰島に参加して

私達は春と二人で今回の帰島に三宅地区の一員として参加しました。乗船の時は天気でしたが、下船の時は南西の風が強く、雨まで降り、生憎の天候でした。

私達のグループは友地、防田、大久保地区の人達で3号車に配車され、三宅港より神着廻りで家に向かい発車しました。途中噴火山付近に差し掛かると、運転手さんがガスマスクを用意してとの指示があり、皆さん慣れない手つきで装着しましたが、島下あたりになると大丈夫ですとの声に皆さん安堵しました。家に着くまでの見た剋類は屋根のいたみが目につきました。今のうちなら、塗装すれば生活できると思います。

家に着いてからは雨のため、外の仕事はできず、家の中のかたづけ窓の戸、車の注油に2時間くらいかかってしまい、港に揚げてあった漁船も見えなかったけど時間がなく残念でした。今回の帰宅で感じた事は、地震が発生したために高い所の物が落ちていた事と、ネズミの被害が目につきました。

帰りは、阿古廻りのバスで三宅港に1時頃に着きましたが、港に着く寸前にガスマスクを装着との指示があり、その状態のままバスに待機している。目の前で式根島、下田港より出漁した三宅の漁船が海老網を操業していたのには、バスに乗っていた島民はどのように感じた事でしょうか。

(足立三宅会 池田 金好)

(2) 島民連絡会設立にあたってのごあいさつ

三宅島島民連絡会会長 佐藤 就之

早いもので全島避難から1年7ヶ月がたちました。

この間、各行政機関と全国の多くの心ある皆さまより、物心両面からご支援と激励を受けつつ、困難な避難生活のなか今日にいたっております。

この度、全島民が主体となって「三宅島島民連絡会」を結成する運びとなりました。

これからの避難生活と復興について、三宅村行政を支え、ともに考えていくため、島民の意見をまとめていく努力をいたしたいと思っておりますので、皆様のご協力ご支援をお願いいたします。

事務局長 有馬 正美

未曾有の噴火災害より、はや1年10ヶ月が経ち、全国の多くの皆様より暖かい御支援・御声援をいただき、また、国都村行政に守られながら今日までやっと参りました。

都内をはじめ全国に避難している島民3800名の方々には、その間、毎日御心労の事と御推察しております。三宅島の復旧復興が進むなか、一時帰島が実施されたとはいえ、未だ終息の目処のつかない現状においては、今後の対策、身の振り方はひとりひとりが真剣に考えていく必要があります。これらの諸状況を鑑みながら、これからは島

民の結束をより一層強くし、お互いの意志の疎通を計りながら、いたわりと思いやりの気持ちと強靱な精神を持ち、生活していかなければなりません。

都内および近郊に40余りの島民会が結束され、また、地元地域の人達との交流がなされておりますが、この度、この人達を中心に、そして各地域にバラバラに生活しております全島民の参加で「三宅島島民連絡会」を設立する事となりました。

これから、自分達が三宅島島民とし

てどの様に生きていくのか、島民の生の声をまとめていくために、島民による島民の為の会を趣旨として行政や各団体機関との連携をとりながら、帰島の日まで目的を達成するよう頑張らねばなりません。この度「三宅島島民連絡会」事務局長という重責をお引き受けするにあたり、浅学凡才の微力な私ではありますが、皆様の御指導・御協力を得て務めていきたいと存じます。何卒よろしく御願ひ申し上げます。

第4回三宅島島民ふれあい集会、いよいよ来週開催!!

お待ちかねの第4回三宅島島民ふれあい集会の開催が、来週の日曜日に迫ってきました。ふれあい集会実行委員会事務局でも、11日(木)19:00~、会場となる芝浦小学校で事前の全体打ち合わせ会を行いました。出展団体、ボランティア参加団体の皆様におよびかけしたところ、**21団体約40名の方のご参加をいただきました**。第4回目になるこの集会に対する各参加団体の意気込みをお聞きするとともに、前日の準備や、当日の集会運営の流れなどについてご説明しました。

島民作品展へ作品出品をご希望の方は、前もって事務局まで、ご連絡ください。

問合せ先：三宅島災害・東京ボランティア支援センター（さかうえゆか）

TEL：03-3260-7573

一流のシェフの
フライパンさばきが楽しみ

オムライスとフルーツポンチ

東京都司厨士協会
(コックさんの協会)

今回、初めて参加・協力して
くださる方々をご紹介します!

被災地神戸からの応援団

から揚げと大学いも

日本基督教団兵庫教区
被災者生活支援長田センター

その場であなたの似顔絵が
バッチになります

似顔絵缶バッチ

自治労東京まんが集団

おなじみ、
どくだみローションをご紹介

ハート化粧品のPR

三宅ハート会

島の先生方もがんばっています

三宅村立小学校教職員

劇団 天草

(げきだん てんぐざ)

三宅島ふるさとバンド

どんなふう
にできるかな?
どんだけとばせるかな?

スーパー竹とんぼ手作り体験

沖電気工業&国際竹とんぼ協会&
エンゼル財団

アニメ「ヒカルの碁」で大人気、
一流女流棋士の方々と夢の対局

囲碁指導

日本囲碁連盟三宅支部/
日本棋院女流棋士会

子どももお年よりも若者も
車椅子でも家族で楽しめるテニス

スポンジテニスで遊ぼう

日本ハンディキャップテニス連盟

秋川高校では
お世話になりました

三宅島児童・生徒支援センター